

日本語文法学会 2024年度第2回オンラインイベント（2025年3月23日）
ワークショップ「日本語の主題と焦点－対照言語学の視点から－」



フランス語から見た 日本語の主題と焦点

デロワ中村弥生

フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)

フランス東アジア研究所 (IFRAE)



発表の流れ

目的：フランス語と対照することにより，日本語の主題と焦点をより深く理解できるようにする

- **フランス語から見た日本語の主題**

- 主題を表す手段
- 主題になる成分
- 従属節と主題
- 主題でないことを表す手段

- **フランス語から見た日本語の焦点**

- 焦点を表す手段・焦点になる成分
- 主題の対比と焦点の排他
- 明示的な主題と焦点を持つ文

フランス語から見た 日本語の主題

主題を表す手段

日本語：「は」（必須の形態的手段）

フランス語：文頭（任意の文法的手段）、任意の形態的手段をとみなうこともある

a) **Ce livre**, je l'ai acheté au Japon. (= 文頭)

この本は、それを日本で買った。

a') J'ai acheté ce livre au Japon.

私 買った この本 日本で

私は、この本を日本で買った。

b) **Pour les ordinateurs**, je préfère Windows. (= 文頭 + 前置詞)

コンピュータ（に関して）は、Windowsの方が好きだ。

c) **Si je vous en parle ainsi**, c'est pour montrer que je ne suis pas la dupe du monde.

(Le père Goriot) (= Si条件節)

私があなたにこんな風に話すのは、私は世の中で騙されやすい人間ではないことを言いたいためよ。

主題になる成分

- 1) 格成分名詞
- 2) 格成分名詞の修飾部分
- 3) 述語名詞の修飾部分
- 4) 被修飾名詞
- 5) 述語を含む節
- 6) 破格の主題
(野田1996)

1) 「この本は父が買ってくれた」 (父がこの本を買ってくれた)

(a) **Ce livre**, je l'ai acheté au Japon.

この本は、それを日本で買った。

2) 「象は鼻が長い」 (象の鼻が長い)

(b) **Alice**, son père est diplomate. (FRANTEXT)

アリスは、彼女の父親が外交官だ。

(c) Alice a un père diplomate.

[直訳] アリスは、外交官の父親を持つ。

主題になる成分

- 1) 格成分名詞
- 2) 格成分名詞の修飾部分
- 3) 述語名詞の修飾部分
- 4) 被修飾名詞
- 5) 述語を含む節
- 6) 破格の主題
(野田1996)

3) 「かき料理は広島が本場だ」 (広島がかき料理の本場だ)

(a) **La vanille**, le Mexique est **son** berceau ! (7 de table.com)

バニラは、メキシコがその生まれ故郷だ。

(b) Les manchots **ont** comme caractéristique une tête assez grande avec un long bec.

ペンギンは、長いくちばしのついた大きな頭が特徴だ。

[直訳] ペンギンは、特徴として、長いくちばしのついた大きな頭を**持つ。**

4) 「辞書は新しいのがいい」 (新しい辞書がいい)

(c) **Pour les ordinateurs**, je préfère **les reconditionnés**.

コンピュータは、整備済み (の) がいい。

主題になる成分

- 1) 格成分名詞
- 2) 格成分名詞の修飾部分
- 3) 述語名詞の修飾部分
- 4) 被修飾名詞
- 5) 述語を含む節
- 6) 破格の主題
(野田1996)

5) 「花が咲くのは 7月ごろだ」 (7月ごろ花が咲く)

(a) **Ce qu-** 述語 **X**, c'est **Y**. (擬似分裂文)

Xするのは **Y**だ。

(b) **Celui qu'ils visent après Grand-père**, c'est **toi**.

彼らが祖父の次に狙うのは **あなた**なのよ。

(『世界の終わりとハードボイルドワンダーランド』)

6) 「ぼくは うなぎだ」

(c) **Le fromage**, c'est la France.

チーズは、フランスだ。

(d) **Moi**, c'est la bière.

私は、ビール。

主題になる成分

- 1) 格成分名詞
- 2) 格成分名詞の修飾部分
- 3) 述語名詞の修飾部分
- 4) 被修飾名詞
- 5) 述語を含む節
- 6) 破格の主題
(野田1996)

日本語では主題化されにくい成分の主題化

2') 格成分名詞の修飾部分

日本語：形容詞述語のガ格の修飾部分（「象の鼻が長い」）

フランス語：動詞述語の目的語の修飾部分

(a) **Paul**, on connaît ses habitudes. (Le Goffic 1993)

[直訳] **ポールは**、みんな彼の習慣を知っている。

7) 述語形容詞

(b) **Ravissante**, elle l' est assurément. (Le Goffic 1993)

[直訳] **きらきらしているって**、彼女は確かにそうだ。

→ **彼女がきらきらしていることは** 確かだ。

(b') Elle est assurément ravissante.

彼女は確かにきらきらしている。

従属節と主題

従属節の成分が主題となる文

日本語：主題分離型（叙述）「換気扇は掃除するのが大変だ」

述部結合型（モダリティ）「台風は四国に上陸する可能性が高い」（野田1996）

フランス語：発話・思考内容を表す節や条件節の成分は文の主題になる

(a) **Pour l'ECG**, dis [que tu l'as fait], OK ? (Hippocrate)

心電図に関しては、[君はそれをやったと]言いなさい。

(b) **Le nez de Cléopâtre** [s'il eût été plus court] toute la face de la terre aurait changé. (Pensées)

クレオパトラの鼻は、[それが低かったら] 世界は変わっていただろう。

主題でないことを表す手段

1. 主題を持たない文

日本語：「は」を用いないこと（野田1996）

フランス語：文法手段を用いて**主語**が主題でないことを表す（任意の積極的文法手段）

主語の後置

- (a) En face de l'église se trouve **un puits**. (← **Un puits** se trouve en face de l'église)

教会の向かい ある 井戸

教会の向かいに、**井戸がある**。

Il y a 構文（「～がある」）

- (b) Il y a **une mouche** qui vole. (← **Une mouche** vole)

ある 一匹の蠅 [関係代名詞] 飛ぶ

蠅が飛んでいる。

- (c) Il y a **Paul** qui est arrivé. (← **Paul** est arrivé 「**ポールは** 来た」)

ポールが来た。

主題でないことを表す手段

2.主題を持たない文：状況に対する説明をする文

Il y a 構文

- a) Il y a **Charles** qui se marie. (← **Charles** se marie. 「シャルルは結婚する」)

ある シャルル [関係代] 結婚する

シャルルが 結婚するのよ。 (Rothenberg 1971)

所有動詞文

- b) J' ai **mon frère** qui m'attend. (← **Mon frère** m'attend. 「兄は私を待つ」)

私 持つ 兄 [関係代] 私を待つ

兄が 待っているんです。 (Le Goffic 1993)

主題でないことを表す手段

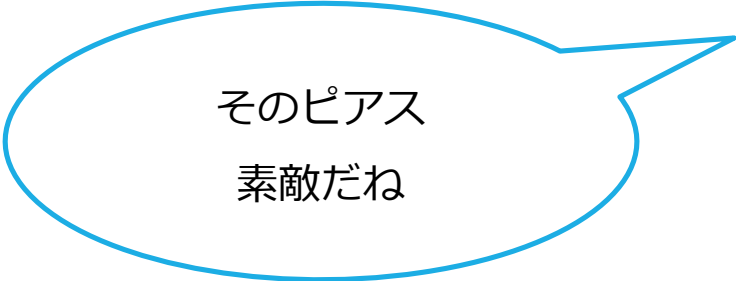
2.主題を持たない文：状況に対する説明をする文

分裂文

(a) C' est **mon mari** qui me les a offertes.

これです 夫 [関係代] 私に それを くれた

夫が くれたんです。



そのピアス
素敵だね

主語でない成分

(b) C' est **au Japon** que je les ai achetées. (← Je les ai achetées au Japon)

これです 日本で [関係代] 私が それを 買った 「私はそれを日本で買った」

日本で 買ったんです。

フランス語から見た 日本語の焦点

焦点を表す手段・焦点になる成分

日本語：「こそ」（主語、理由を表す成分）→文法的制約が多く、現代語で衰退（野田2003）
音声的な強調（さまざまな成分）

フランス語：音声的な強調

分裂文（さまざまな成分）→ 英語における使用の8倍（Volsik 1991）

(a) Mais non, **Paul** est arrivé le premier ! (Le Goffic 1993)

ちがうよ、**ポールが**、最初に着いたんだよ。

(b) C'est **à Paul** que tu as demandé des conseils ? (間接目的語)

ポールに アドバイスを聞いたの。

(c) C'est **où** que tu vas demain ? (疑問詞)

明日 **どこへ** 行くの。

主題の対比と焦点の排他

日本語：「（排他の「が」と対比の「は」を使った文の違いは）何が主題になっているかの違いだと考えられる」（野田1996:234）

「対比の「は」は、基本的に主題の性質を持っており、排他の「が」は、基本的に非主題としての性質を持っている」（野田1996:278）

フランス語：擬似分裂文＝主題の対比、分裂文＝焦点化要素の排他性

(a) **Ce que j'aime**, c'est le vin rouge. (擬似分裂文)

私が好きなのは、赤ワイン。（「ポールが好きなのは」「私が苦手なのは」などと対比）

(b) C'est **le vin rouge** que j'aime. (分裂文)

私は **赤ワインが** 好き。（白ワインやビールではない）

明示的な主題と焦点を持つ文

日本語：「**会長（に）**は 田中さんこそ ふさわしい」

フランス語：主題以外の要素のうち、さまざまな成分が分裂文で焦点化
(仮説) 主題以外の部分に情報量の少ない要素があるためか

(a) **Si j'ai aimé jouer tôt avec les mots, c'est à lui que** je le dois.

(FRANTEXT)

直訳：私が早くから言葉遊びが好きになったのは、彼にそれを負っている。

(私が早くから言葉遊びが好きになったのは、彼のおかげだ)

まとめ

日本語は主題を表す必須の形態的手段を持ち、主題が常にはっきりと示されるのに対し、フランス語は、主題や焦点を表す必須の形態的手段を持たない。しかし、任意の文法的手段を用いて積極的に主題や主題でないことを示し、最も述べたいことを焦点化する。

フランス語から見た日本語の主題

- 日本語もフランス語も主題化される成分の種類が豊富だが、主題化がおこる構文や成分が異なる。

フランス語から見た日本語の焦点

- フランス語は、最も述べたいことを明示するために、分裂文を使って積極的に焦点を示す。日本語は、「こそ」で焦点化が可能であるが、積極的な手段では明示されないことも多い。

調査資料

7 de table.com サイト 2022年06月13日記事 [<https://www.7detable.com/article/societe/festival-que-gusto-la-vanille-le-mexique-est-son-berceau/3627>]
FRANTEXT テキストデータベース, ATILF - CNRS & Université de Lorraine. Version 2016. [<http://www.frantext.fr>]
La fin des temps. Murakami Haruki, Corinne Atlan (訳), Éditions du Seuil, 1992.
Le père Goriot. Honoré de Balzac. 1835. ウェブ版 [[https://fr.wikisource.org/wiki/Le_P%C3%A8re_Goriot_\(1910\)](https://fr.wikisource.org/wiki/Le_P%C3%A8re_Goriot_(1910))]
Le Point サイト 2024年03月13日記事 [https://www.lepoint.fr/societe/l-antidote-au-stress-au-travail-ce-n-est-pas-la-relaxation-c-est-la-concentration-13-03-2024-2554973_23.php#11] (2024/03/21閲覧)
Le Rouge et le Noir. Stendhal. 1830. ウェブ版 [https://fr.wikisource.org/wiki/Le_Rouge_et_le_Noir]
Pensées. Blaise Pascal. ウェブ版 [<https://www.penseesdepascal.fr/>]
『世界の終わりとハードボイルドワンダーランド』村上春樹, 新潮社, 『CD-ROM 版 新潮文庫の100 冊』所収電子版, 1995.

映像作品：

映画 Hippocrate (ヒポクラテス)、2014年
ミニシリーズ Une mère parfaite、2021年

参考文献

野田尚史 (1996) 『「は」と「が」』くろしお出版.
野田尚史 (2003) 「現代語の特立のとりたて」沼田善子・野田尚史 (編) 『日本語のとりたてー現代語と歴史的変化・地理的変異』 pp. 3-22、くろしお出版.
Le Goffic, Pierre (1993) *Grammaire de la phrase française*. Hachette.
Rothenberg, Mira. (1971) Les propositions relatives à antécédent explicite introduites par des présentatifs, *Études de linguistique appliquée*, 2, 102-117.
Volsik, Paul (1991) La traduction des clivées et le problème de la mise en relief. *Palimpsestes*, 5, pp. 77-99.
[<https://journals.openedition.org/palimpsestes/619>]